



## 2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月8日  
上場取引所 東

上場会社名 アオイ電子株式会社  
 コード番号 6832 URL http://www.aoi-electronics.co.jp/  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中山 康治  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 青木 良二 TEL 087-882-1131  
 定時株主総会開催予定日 2020年6月25日 配当支払開始予定日 2020年6月26日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日  
 決算補足説明資料作成の有無： 無  
 決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の連結業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	42,342	△1.0	3,178	△3.4	3,419	△15.3	1,798	△21.0
2019年3月期	42,777	△6.3	3,289	△41.8	4,038	△34.5	2,277	△50.1

(注) 包括利益 2020年3月期 1,608百万円 (△30.8%) 2019年3月期 2,322百万円 (△49.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	149.91	—	3.8	5.9	7.5
2019年3月期	189.77	—	4.9	7.1	7.7

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 43百万円 2019年3月期 72百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	57,758	48,043	83.2	4,003.91
2019年3月期	57,358	47,227	82.3	3,935.85

(参考) 自己資本 2020年3月期 48,043百万円 2019年3月期 47,227百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	3,481	△4,048	△1,400	25,992
2019年3月期	7,480	△2,981	△782	27,922

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	27.00	—	39.00	66.00	791	34.8	1.7
2020年3月期	—	27.00	—	29.00	56.00	671	37.4	1.4
2021年3月期 (予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1 2019年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 29円00銭 記念配当 10円00銭 (創業50周年記念配当)

2 2021年3月期の配当予想につきましては、未定とさせていただきます。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

業績予想につきましては、現段階で合理的な業績予想の算定を行うことが困難なことから未定とし、記載しておりません。今後、合理的な予想が可能となった時点で速やかに開示させていただきます。なお、当該理由につきましては、添付資料2ページ「(1) 経営成績に関する概況 (2) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	12,000,000株	2019年3月期	12,000,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期	749株	2019年3月期	702株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	11,999,287株	2019年3月期	11,999,298株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績等の予想数値につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、業況等の変化などにより、この資料に記載されている予想と大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 経営成績に関する概況 .....	2
(2) 財政状態に関する概況 .....	2
(3) 利益配分に関する基本方針および当期・次期の配当 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 経営成績に関する概況

#### ① 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、海外経済の減速や米中貿易摩擦などを背景に不透明な状況で推移してまいりました。加えて今年に入ってから、世界的に広がる新型コロナウイルス感染拡大の影響から金融市場では動揺が続くとともに、インバウンドの減少や国内消費も広く抑制されるなど経済・社会活動は停滞しており、景気の減速懸念は一層高まる状況となりました。海外においては、欧州やアジア新興国では、輸出の低迷などにより減速傾向で推移し、米国では内需を下支えに拡大基調で推移していたものの、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、世界各地で経済活動は著しく低下し、先行きは極めて不透明な状況となりました。

当社グループの属する電子部品業界におきましては、車載向け部品は、販売台数の減少はあったものの電装化率向上により需要は底堅く推移いたしました。携帯情報端末向け部品は、下期以降に需要が持ち直し在庫調整の進展がみられておりましたが、終盤にかけて、新型コロナウイルス感染拡大の影響により失速傾向となりました。

このような情勢の中で、当社グループの当連結会計年度の連結売上高は42,342百万円（前年同期比434百万円減、1.0%減）、営業利益は、貴金属等の原材料価格の高騰や新商品開発に向けての研究開発費が増加したことなどから3,178百万円（前年同期比111百万円減、3.4%減）、経常利益は3,419百万円（前年同期比619百万円減、15.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は、当社が保有する固定資産の減損損失833百万円を特別損失に計上したことなどから1,798百万円（前年同期比478百万円減、21.0%減）となりました。

当社グループの製品の種別区分ごとの売上高であります。集積回路は、携帯情報端末向け部品の受注が堅調に推移したことから36,660百万円（前年同期比66百万円増、0.2%増）となりました。機能部品は、中国向けサーマルプリントヘッドの受注が減少したことにより、5,548百万円（前年同期比506百万円減、8.4%減）となりました。

#### ② 今後の見通し

今後の経済見通しにつきましては、新型コロナウイルスの収束の時期、感染拡大による影響が見通せないため、先行きは非常に不透明な状況にあります。

当社グループの属する電子部品業界におきましても、需要の低迷やお客様の操業停止に加え、サプライチェーンの混乱など業績に与える影響が大きく業績予想値の合理的な算定を行うことが困難な状況であり、第2四半期累計期間および通期の業績予想を未定といたします。

第2四半期累計期間および通期の業績予想につきましては、今後、合理的な予想が可能となった時点で速やかに開示させていただきます。

### (2) 財政状態に関する概況

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の資産の部につきましては、受取手形及び売掛金など流動資産の増加により、前連結会計年度末比399百万円の増加となりました。負債の部につきましては、支払手形及び買掛金など流動負債の減少により、前連結会計年度末比416百万円の減少となりました。これらの結果、純資産は48,043百万円で前連結会計年度末比816百万円の増加となり、自己資本比率は83.2%と0.9ポイントの増加となりました。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、当連結会計年度末には25,992百万円となり、前連結会計年度末より1,930百万円の減少(6.9%減)となりました。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は3,481百万円（前年同期の増加した資金は7,480百万円）となりました。主な資金増加の要因は、税金等調整前当期純利益2,558百万円、減価償却費3,256百万円、減損損失833百万円等によるものであり、主な資金減少の要因は、売上債権の増加額2,000百万円、法人税等の支払額1,284百万円等によるものです。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は4,048百万円（前年同期の減少した資金は2,981百万円）となりました。主な資金増加の要因は、投資有価証券の売却による収入5百万円等であり、主な資金減少の要因は、有形固定資産の取得による支出3,929百万円、無形固定資産の取得による支出71百万円等であります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は1,400百万円（前年同期の減少した資金は782百万円）となりました。資金増加の要因は、短期借入れによる収入1,140百万円であり、主な資金減少の要因は、長期および短期借入金の返済による支出1,404百万円、配当金の支払額791百万円等によるものであります。

## (3) 利益配分に関する基本方針および当期・次期の配当

企業体質の充実強化と将来の事業展開を見据えた内部留保を確保しつつ、株主のみなさまに対する安定的な利益還元を最重要課題のひとつと考えており、利益の状況、配当性向などを総合的に判断したうえで、安定的な配当の継続に取り組んでまいります。

内部留保金の使途につきましては、当業界が装置集約型産業に属し、技術革新の速さ、製品のライフサイクルの短縮にともなう量産ラインの切り替えの早期化など、利益の再投資により企業全体の利益を拡大していくという基本方針に基づき、長期的な視野に立った新製品への開発投資、生産効率の向上・合理化を目的とする設備の開発・改善などに充当させ、価格競争力の強化に寄与させてまいりたいと考えております。

当期末の利益配当につきましては、上記の配当方針に基づき、1株につき29円といたしました。中間配当金27円と合わせて、年間配当金は1株当たり56円といたしました。

なお、第52期の中間配当についての取締役会決議は、2019年11月1日に行っております。

次期の配当につきましては、現時点では業績の見通しが見つからないため未定とし、業績の見通しがついた時点で、業績予想とともに速やかに開示させていただきます。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,922,967	22,992,294
受取手形及び売掛金	8,424,986	9,145,109
電子記録債権	517,102	1,797,609
有価証券	2,000,000	3,000,000
商品及び製品	130,221	126,872
仕掛品	731,807	920,228
原材料及び貯蔵品	1,112,455	1,180,658
前払費用	32,538	52,167
その他	446,962	225,537
貸倒引当金	△10,726	—
流動資産合計	39,308,315	39,440,477
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,443,313	20,364,555
減価償却累計額及び減損損失累計額	△13,303,788	△14,285,623
建物及び構築物(純額)	6,139,524	6,078,931
機械装置及び運搬具	42,843,604	44,316,086
減価償却累計額及び減損損失累計額	△39,992,735	△41,527,113
機械装置及び運搬具(純額)	2,850,868	2,788,973
工具、器具及び備品	7,569,539	7,894,521
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,155,707	△7,497,887
工具、器具及び備品(純額)	413,831	396,633
土地	3,384,211	3,384,211
リース資産	305,947	369,850
減価償却累計額及び減損損失累計額	△151,815	△215,055
リース資産(純額)	154,131	154,794
建設仮勘定	657,275	882,811
有形固定資産合計	13,599,844	13,686,355
無形固定資産		
のれん	174,402	161,718
その他	249,052	186,391
無形固定資産合計	423,454	348,110
投資その他の資産		
投資有価証券	2,425,131	2,389,228
退職給付に係る資産	215,612	97,026
繰延税金資産	936,753	1,313,553
その他	449,052	483,270
投資その他の資産合計	4,026,549	4,283,079
固定資産合計	18,049,848	18,317,545
資産合計	57,358,164	57,758,023

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,374,933	2,351,936
電子記録債務	1,857,900	1,610,325
短期借入金	190,000	190,000
1年内返済予定の長期借入金	264,612	230,429
リース債務	60,425	72,283
未払金	1,797,500	2,196,118
未払法人税等	725,006	451,085
賞与引当金	790,564	782,699
その他	726,536	695,036
流動負債合計	8,787,478	8,579,913
固定負債		
長期借入金	702,953	472,524
リース債務	104,851	132,229
繰延税金負債	52,454	28,801
退職給付に係る負債	375,200	400,691
資産除去債務	27,160	27,304
その他	80,643	72,689
固定負債合計	1,343,262	1,134,240
負債合計	10,130,740	9,714,154
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,545,500	4,545,500
資本剰余金	5,790,950	5,790,950
利益剰余金	36,888,258	37,895,082
自己株式	△1,419	△1,551
株主資本合計	47,223,288	48,229,980
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	84,520	42,667
退職給付に係る調整累計額	△80,385	△228,779
その他の包括利益累計額合計	4,134	△186,111
純資産合計	47,227,423	48,043,868
負債純資産合計	57,358,164	57,758,023

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	42,777,150	42,342,555
売上原価	35,426,733	34,722,501
売上総利益	7,350,417	7,620,053
販売費及び一般管理費	4,060,466	4,441,923
営業利益	3,289,950	3,178,130
営業外収益		
受取利息	11,507	4,164
受取配当金	71,455	57,494
為替差益	162,196	38,564
助成金収入	251,450	330
受取補償金	7,561	73,765
受取技術料	125,182	43,401
持分法による投資利益	72,747	43,175
その他	110,852	100,296
営業外収益合計	812,954	361,192
営業外費用		
支払利息	9,659	8,161
支払補償費	19,561	71,535
貸与資産減価償却費	26,947	26,388
その他	8,131	14,035
営業外費用合計	64,300	120,120
経常利益	4,038,604	3,419,201
特別利益		
固定資産売却益	1,095	9
投資有価証券売却益	—	4,031
特別利益合計	1,095	4,040
特別損失		
固定資産除売却損	7,578	31,178
減損損失	438,852	833,391
その他	1,200	—
特別損失合計	447,630	864,570
税金等調整前当期純利益	3,592,069	2,558,671
法人税、住民税及び事業税	1,387,469	1,075,895
法人税等調整額	△72,533	△316,001
法人税等合計	1,314,936	759,893
当期純利益	2,277,133	1,798,777
親会社株主に帰属する当期純利益	2,277,133	1,798,777



(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	2,277,133	1,798,777
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△63,837	△41,852
退職給付に係る調整額	109,595	△148,394
その他の包括利益合計	45,758	△190,246
包括利益	2,322,891	1,608,530
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,322,891	1,608,530
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,545,500	5,790,950	35,283,085	△1,419	45,618,116
当期変動額					
剰余金の配当			△671,960		△671,960
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,277,133		2,277,133
自己株式の取得					
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,605,172	—	1,605,172
当期末残高	4,545,500	5,790,950	36,888,258	△1,419	47,223,288

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	148,357	△189,980	△41,623	45,576,492
当期変動額				
剰余金の配当				△671,960
親会社株主に帰属する 当期純利益				2,277,133
自己株式の取得				
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△63,837	109,595	45,758	45,758
当期変動額合計	△63,837	109,595	45,758	1,650,930
当期末残高	84,520	△80,385	4,134	47,227,423

当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,545,500	5,790,950	36,888,258	△1,419	47,223,288
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	△791,953	—	△791,953
親会社株主に帰属する 当期純利益	—	—	1,798,777	—	1,798,777
自己株式の取得	—	—	—	△132	△132
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	—	—	—	—	
当期変動額合計			1,006,824	△132	1,006,691
当期末残高	4,545,500	5,790,950	37,895,082	△1,551	48,229,980

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	84,520	△80,385	4,134	47,227,423
当期変動額				
剰余金の配当	—	—	—	△791,953
親会社株主に帰属する 当期純利益	—	—	—	1,798,777
自己株式の取得	—	—	—	△132
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△41,852	△148,394	△190,246	△190,246
当期変動額合計	△41,852	△148,394	△190,246	816,444
当期末残高	42,667	△228,779	△186,111	48,043,868

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	3,592,069	2,558,671
減価償却費	3,414,358	3,256,774
減損損失	438,852	833,391
のれん償却額	12,683	12,683
固定資産除却損	7,578	31,178
固定資産売却損益 (△は益)	△1,095	△9
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,235	△10,726
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△4,031
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△42,092	△7,865
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△23,509	△36,254
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△30,470	△35,782
受取利息及び受取配当金	△82,963	△61,658
支払利息	9,659	8,161
為替差損益 (△は益)	△31,495	△37,186
持分法による投資損益 (△は益)	△72,747	△43,175
売上債権の増減額 (△は増加)	2,415,924	△2,000,630
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△29,554	△253,274
仕入債務の増減額 (△は減少)	△566,152	△270,572
その他	71,078	749,488
小計	9,078,888	4,689,182
利息及び配当金の受取額	100,062	84,369
利息の支払額	△9,598	△7,706
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,688,401	△1,284,770
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,480,950	3,481,075
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	1,128,700	—
有形固定資産の取得による支出	△4,037,514	△3,929,121
有形固定資産の除却による支出	△1,850	△8,971
有形固定資産の売却による収入	1,110	41
無形固定資産の取得による支出	△44,784	△71,246
投資有価証券の取得による支出	—	△5,701
投資有価証券の売却による収入	—	5,847
その他	△26,865	△39,280
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,981,204	△4,048,432
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,140,000	1,140,000
短期借入金の返済による支出	△1,140,000	△1,140,000
長期借入れによる収入	630,000	—
長期借入金の返済による支出	△387,748	△264,612
リース債務の返済による支出	△352,419	△343,804
配当金の支払額	△671,960	△791,953
自己株式の取得による支出	—	△132
財務活動によるキャッシュ・フロー	△782,128	△1,400,502
現金及び現金同等物に係る換算差額	31,495	37,186
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,749,113	△1,930,672
現金及び現金同等物の期首残高	24,173,854	27,922,967
現金及び現金同等物の期末残高	27,922,967	25,992,294

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）および当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

当社グループは、電気・電子部品の製造販売を事業内容とする単一セグメントであり、当社グループ全体で包括的な事業戦略を立案し、事業活動を展開しております。よって、セグメント情報の記載は省略しております。

## (1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額 (円)	3,935.85	4,003.91
1株当たり当期純利益 (円)	189.77	149.91

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する 当期純利益 (千円)	2,277,133	1,798,777
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益 (千円)	2,277,133	1,798,777
期中平均株式数 (千株)	11,999	11,999

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。